

## ビジネスアイデアの概要

日本の食糧安全保障に関する課題を解決するために、

①農地整備市場をターゲットに、超効率CADソフトの販売と設計支援サービスを提供します。主な対象は、国から発注を受けた設計コンサルタントや建設会社です。

②次に、農業の大規模化、自動運転農業の普及に伴い、農業市場をターゲットにロボット農機の運用計画サービスと、ロボット農機用のマップ提供も行います。

対象は大規模農家です。国の補助により自己負担は1割程度となる見込みです。

また上記に関するソリューションを構成する超効率CAD等を他産業に適用し、売上げが確保できるサービスを確立します。

## ビジネスアイデアを事業化するための課題

直近5年での売上げ確保に向けて、超効率CADソフトウェアによる事業化を検討する。

具体的には、

- ・ほ場整備事業での超効率CADソフトが有効であるかの検証
- ・ほ場整備事業以外（宅地造成、上下水道、塹壕等）での超効率CADソフトの適用可能性の調査
- ・対象とする市場規模の絞り込みと技術的要件の整理
- ・それぞれの市場における顧客ペインとペイン解消となるサービスの検討

## 事業化の見通し

ほ場整備事業を対象とした超効率CADソフトのプロトタイプが完成し、80ライセンス以上を農業土木関連の地方自治体、設計コンサルタントにソフトウェアの貸出しを行った。

一方、同事業を対象とした情報化施工の実施件数の伸びは低く、市場拡大の見通しが十分に得られていない状況にある。

このため、ほ場整備事業以外も含めて、適用可能な市場を調査し、競合分析や必要となる追加機能を洗い出しを行う。その上で、市場規模や開発コストから対象とする市場を絞り込み、売上げ確保が可能な事業計画を策定する。

## 事業者情報

農研機構 松島健一

契約職員およびアウトソーシング

現在、30名体制でDXソリューションに必要な4つのソフトウェアを開発中

## ビジネスアイデア概要図等

